

新年おめでとうございます。



牛こそ大黒様のお使い

去年は鼠の年。5年続きの豊作は人間ばかりではなく生物社会をうるほした。わけても鼠族の繁栄はスザマジク我が世の春をオウガした。

昔は大黒様のお使いなどと稱したものだが、とんでもない話、厄病神のお使いで大盜賊団、百害あつて一利なし。年が変つて今年は牛年。子供のころご飯を食べてすぐ寝ると牛になると驚かされ、食事の後と恥をかいだ後は早く立てなどと昔の人はうまいことをいつて私達を教育してくれた。お陰で知らぬ間に礼節を学び勤勉のとうとさを知つて成長した。

しかし今日のようにめまぐるしい社会では食休みも思うにまかせず、その結果胃腸病患者の続出である。せめて食後の1時間くらいは健康法のひとつとしてゆつくりしたいものです。

牛をご覧ください。食後はゆうゆうと巨軸を横たえて反す(かみかえし)しているではありませんか。そして頑丈そのものです。そして食糧に農耕に人間に益すること牛に勝るものはありません。

「牛こそ大黒様のお使」の言葉が出るわけです。そしてこのお使いの牛に「蚊とハエ」を退治して住みよい生活を与えようではありませんか。

皆様方に親しまれ診療を実施しております。また麻生町国民が、一月一日から麻生町で経営することになりました。

医師はじめ従業員も町職員となつて今までどおり診療に從事いたしますから皆様の診療所として御利用ください。

蔵川にある診療所も麻生町国

民健康保険診療所で名稱には變りありません。

健康を保持していただきます

兩診療所をご利用ください。

なお診療医の勤務区分は次

のとあります。

オ一診療所

木

水

火

田谷、劍持

田谷、山田

劍持、田谷

山田

